第83回　教育研究評議会議事要旨

日　　時　　令和７年３月４日（火）10：00～11：55

場　　所　　高エネルギー加速器研究機構 管理棟大会議室 ＋ ウェブ（Zoom）併用

出　席　者

【構成員】　浅井議長、足立評議員、長野評議員、花垣評議員、元村評議員、道園評議員、青木評議員、雨宮評議員、後田評議員、帯名評議員、荻尾評議員、上垣外評議員、栗栖評議員、小関評議員、小林評議員、齊藤評議員、菅原評議員、田島評議員、中野評議員、中村評議員、波戸評議員、廣井評議員、福村評議員、船守評議員、門馬評議員

【オブザーバー】三明監事、白木澤監事、山崎財務部長、永木研究協力部長、永野施設部長、原研究協力部次長、櫻井参事役、柴原参事役、圷監査室長、岡田安全衛生推進室長、岩見人事担当課長、由井職員担当課長、飯塚財務企画課長、山口研究協力課長、河西QUP業務推進室長

配付資料

１.第82回教育研究評議会議事要録
２.人事異動
３.令和７年度政府予算案の概要について
４.令和７年度施設整備費予算案の概要について
５.DE&Iに関する基本方針の制定について
６.行動規範の制定について
７.高エネルギー加速器研究機構における教育体制等について

別途配信資料

１.名誉教授の選考について
２.産業医の助教併任について
３.量子場計測システム国際拠点長候補者の選考について

【１】第82回議事要録について

浅井議長から、資料１の議事要録は事前に確認済みであり、確定版を配付している旨の説明があった。

【２】審議

（１）名誉教授の選考について【クローズド審議】

各研究所、研究施設の運営会議での審査結果について、それぞれの運営会議議長である雨宮評議員（物質構造科学研究所運営会議）及び帯名評議員（加速器・共通基盤研究施設運営会議）から別途配信資料に基づき説明があった。投票を行った結果、８名を名誉教授として選考した。

（２）産業医の助教併任について【クローズド審議】

道園評議員から、別途配信資料に基づき説明があり、審議の結果、資料のとおり了承された。

（３）量子場計測システム国際拠点長候補者の選考について【クローズド審議】

浅井議長から、別途配信資料に基づき説明があり、審議の結果、資料のとおり了承された。

【３】報告

（１）人事異動

浅井議長から、資料２に基づき報告があった。

（２）令和７年度予算案の概要について

長野評議員及び道園評議員から、資料３及び資料４に基づき報告があった。

＜主な意見・質疑応答等＞

・自己収入が前年度から 13%増加しているが、増加に向けて新たに取り組むことはあるか。

→自己収入は政府予算で措置されているものでは無いため、現段階では機構宿泊施設の宿泊料収入や実験施設の施設使用料収入などを見込み暫定的に示している部分である。そのため、年度当初時点で新たな取組により増加が見込まれているものでは無く、年度終了時に実績をご確認いただきたい。

（３）DE&I に関する基本方針の制定について

道園評議員から、資料５に基づき報告があった。

＜主な意見・質疑応答等＞

・DE&I に関する具体的な取り組みは何か行っているのか。

→今年度から、DE&I 戦略会議と DE&I 連携会議を新たに設置した。このうち、DE＆I 連携会議は、副所長・若手職員も委員になっており、DE＆I の基本方針の発案や意見交換を実施している。

（４）行動規範の制定について

道園評議員から、資料６に基づき報告があった。

＜主な意見・質疑応答等＞

・行動規範制定に至る具体的なプロセスを説明されたい。

→DE＆I 連携会議の委員からワーキンググループを立ち上げ、各研究所・施設から意見を集約し、新たな行動規範の原案を作成した。また、その後機構内の会議で諮り、パブリックコメントを踏まえて、今回の制定に至った。

（５）高エネルギー加速器研究機構における教育体制等について

花垣評議員から、資料７に基づき報告があった。

＜主な意見・質疑応答等＞

・連携大学院協定の締結機関のうち、令和６年度の受入実績は東京大学のみである。大学共同利用機関法人として、教育システムを含めた協力を広く行う必要があるのではないか。

【４】研究活動報告

（１） 小関評議員（加速器研究施設長）から、加速器研究施設の研究活動状況について報告があった。

＜主な意見・質疑応答等＞

・老朽化対策というネーミングの変更を検討してはどうか。長期間使用するインフラの整備は必要経費であり、整備を行うことで高度化及び機能強化が実現する。新たな予算の獲得のためにも検討する必要があるのではないか。

→実際に、老朽化対策を行う際にはそれまで使用していたものよりも高機能な設備を導入することになるため、単なる補修ではなく加速器の機能強化につながっている。その点が強調されるように検討を行いたい。

【６】その他

浅井議長から、今年度末で教育研究評議会評議員を退任される青木評議員（京都大学基礎物理学研究所長）に対し、謝意が述べられた。

浅井議長から、次回の評議会は令和７年６月 10 日に開催するとの案内があり、閉会した。

以 上